

議員説明会 会議録

1 開催日時

令和7年4月21日（月曜日） 午後1時 ～ 午後1時15分

2 件名

第2次花巻市まちづくり総合計画前期アクションプランのローリングについて

3 議事録

（岩間総合政策部長）

ただいまから、議員説明会を開催いたします。

本日の説明につきましては2件ございますが、初めに第2次花巻市まちづくり総合計画前期アクションプランのローリングにつきましてご説明させていただきます。

総合政策部担当になりますので、私から初めに概要を説明させていただきます。

（岩間総合政策部長）

前期アクションプランにつきましては、第2次花巻市まちづくり総合計画に掲げた将来都市像の実現に向けて長期ビジョンを着実に実行するため、まちづくり分野ごとに取り組む主要な事業や成果指標の目標値など具体的な施策の展開を示す計画として、令和6年6月に、令和6年度から令和9年度までの4年間を計画期間として策定いたしました。

この前期アクションプランは、社会経済状況の変化に対応するとともに、事業費等の時点修正を行うため、毎年度3年先までを見通したローリングを行うこととしており、政策及び施策の基本的な取組方向を変更しないことを前提に、指標等の目標値の修正、主要事業の掲載の追加や削除及び修正、事業費の時点修正などを行うものです。

なお、明日から各地域協議会及び地域自治推進委員会において、新市建設計画に係る諮問を行うこととしており、その際に本アクションプランのローリングについても概要をお話しいたしますし、現在、補正予算の取りまとめを行っていること、また最終的なチェックを行いますことから、今後、若干の文言修正や事業費の増減が発生する可能性がありますので、この点、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

粒針秘書政策課長。

（粒針秘書政策課長）

今回の第2次花巻市まちづくり総合計画前期アクションプランのローリングに伴う変更内容につきましては、主に次の5点となっております。

1点目は政策的に新たに実施する事業の追加、2点目は人口の社会減対策の重点推進プロジェクト事業の追加、3点目は令和6年度に物価高騰対策として補正予算で計上し実施した事業及び事業概要の追加、4点目は令和7年度中に補正予算の計上が見込まれる概算事業費の追加、5点目は文言修正、補正予算で計上し実施した事業の追加及び財政見直し等の時点修正です。

1点目の政策的に新たに実施する事業の追加ですが、これまで管理運営費として実施してまいりました小中学校の学校給食費の食材料費の価格高騰分に対する支援を、令和7年

度から主要事業「学校給食費負担軽減事業」としたことから、当該事業を追加したほか、まちづくりの担い手となる若い世代を中心とした定住の促進と市内企業の人材確保支援を目的とした「日本学生支援機構奨学金返還支援事業」や、令和6年11月30日に東北で初めて認定された「女子野球タウン」の推進に係る事業費を計上した「女子野球タウン推進事業」などの5事業を新たに追加いたしました。

2点目の人口の社会減対策の重点推進プロジェクト事業の追加ですが、花巻市における最も重要な課題と捉えている「人口減少」を解決するため、まちづくり分野ごとの政策・施策を横断的に推進する「子ども・子育て応援プロジェクト」と「花巻で暮らそうプロジェクト」の重点推進プロジェクトに位置付ける事業を追加しました。「子ども・子育て応援プロジェクト」においては、前段でもご説明いたしました「学校給食費負担軽減事業」や「日本学生支援機構奨学金返還支援事業」のほか、「(仮称)産後ケア施設整備調査検討事業」や、「(仮称)子育て支援複合施設整備調査検討事業」などの6事業を追加しました。

また、「花巻で暮らそうプロジェクト」には、「図書館整備事業」のほか、「子ども・子育て応援プロジェクト」にも掲載した「日本学生支援機構奨学金返還支援事業」を再掲として追加しました。

3点目の令和6年度に物価高騰対策として補正予算で計上し実施した事業及び事業概要の追加ですが、前期アクションプランの策定後に国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して実施した非課税世帯等への給付金や、定額減税に係る補足給付金のほか、地方自治体に一定の裁量がある推奨事業メニューで実施した PayPay11 弾、タクシー事業者・乗合バス事業者・貸切バス事業者・運輸事業者・一般廃棄物等収集運搬許可事業者への燃油支援、大学等進学の子どものいる世帯への支援金などの事業を追加しました。

4点目の令和7年度中に補正予算の計上が見込まれる概算事業費の追加ですが、現時点で令和7年度中に補正予算の要求が見込まれるハード事業の概算事業費として、図書館整備に係る設計費及び測量調査費、現在基本設計中の義務教育学校整備に係る実施設計費及び測量調査費、令和6年度に実施設計を実施した定住交流センターの空調設備改修工事費を追加しました。なお、事業内容や事業費は、補正予算案を上程した段階で詳しくご説明し、ご審議いただきたいと考えております。

5点目の文言修正、補正予算で計上し実施した事業の追加及び財政見直し等の時点修正ですが、これまで説明してまいりました事業のほか、令和6年度中に補正予算をお認めいただき執行してきました事業を追加しているほか、政策及び施策の基本的な取組方向を変更しない範囲での文言や成果指標の修正及びローリング後の主要事業に応じた財政見直し等の時点修正を行っております。

次に、2ページ目をご覧ください。

上段の表は、令和6年度の前期アクションプラン策定時点とローリング後の主要事業の事業費及び特定財源を比較したものであります。主要事業の事業費については、令和7年度当初予算をベースに各年度の積算をしておりますが、その考え方についてご説明いたします。まず、「1 ハード事業」についてであります。ハード事業は、「政策的なハード事業及び一時的に事業費を要するハード事業」、「同種の施設が複数存在するハード事業」、「インフラ系ハード事業」、「整備方針又は優先順位が未決定なハード事業」の4つに区分しております。「政策的なハード事業及び一時的に事業費を要するハード事業」については、

1 ページ目でもご説明いたしましたが、令和7年度中に基本設計、実施設計又は工事費等の補正予算要求が見込まれる事業を追加しているほか、令和7年度当初予算で実施設計費が予算計上されている事業の工事費を令和8年度の計画に計上しております。スポーツ施設や小中学校のように「同種の施設が複数存在するハード事業」については、これまでの事業規模や長寿命化計画等に基づき工事費を計上いたしました。道路や橋梁などの「インフラ系ハード事業」については、国費の配分見込みや事業の進捗状況から推計される事業費を計上いたしました。「整備方針又は優先順位が未決定なハード事業」については、現時点で実施が確実な事業費のみを計上し、事業実施が決定した段階でのローリングで追加計上してまいります。

次に、3 ページをご覧ください。

「2 ソフト事業」についてであります。ソフト事業のうち、「政策的なソフト事業」については、子ども・子育て支援のように政策的に取り組んでいる事業は継続する見込みとし、令和7年度当初予算をベースに令和8・9年度の事業費を計上し、医療費助成等の扶助費は伸び率、保育委託は公定価格の伸びを見込んだ推計額を計上しております。なお、新型コロナウイルスワクチン予防接種に係る経費については、国等の財政措置の状況が不透明であることから、現時点では事業費を見込んでおりません。

「経常的なソフト事業」については、令和7年度当初予算をベースに令和8・9年度の事業費を計上し、児童手当や障がい者サービス給付等の扶助費は伸び率を見込んだ推計額を計上しております。

次に、3のふるさと納税とイーハトーブ花巻応援基金の充当についてであります。令和6年度の前年度ベースのふるさと納税は85億円で、そのうち42億5千万円は返礼品や事務費に充当し、令和6年度実施事業には25億円を充当することから、充当額の合計は67億5千万円となり、85億円からこの67億5千万円を差し引いた残りの17億5千万円はイーハトーブ花巻応援基金へ積立て、令和7年度以降に活用するものです。令和6年度においては、令和5年度のふるさと納税のうちイーハトーブ花巻応援基金に積立てた15億円を取り崩し、令和6年度の主要事業へ充当しております。先ほど申しあげた令和6年度にイーハトーブ花巻応援基金へ積立てた17億5千万円のうち、令和7年度当初予算では15億円を取り崩し、主要事業に充当することとしており、残りの2億5千万円は令和8年度の財源として活用する見込みとなっております。なお、この金額につきましては、ふるさと納税の実際の寄附額により額の変動があることをご承知申し上げます。

また、令和7年度以降のふるさと納税は50億円と見込んでおり、そのうち25億円は返礼品や事務費へ、残りの25億円は主要事業に充当することとし、基金への積立は現時点では見込んでいないものです。なお、財政上非常に有利な合併特例債については、令和7年度当初予算編成時点の令和7年度末の今後発行可能額を74億5,680万円と見込んでおり、その活用の根拠計画となる新市建設計画につきましては、計画期間の延伸と事業の追加等を目的とした計画変更の手続きを進めております。現在、令和7年4月9日までのパブリックコメントを終了し、10件の意見をいただいたところであり、今後、市の考え方を公表してまいります。また、明日（4月22日）より各地域協議会及び地域自治推進委員会への諮問を行いまして、令和7年6月の花巻市議会定例会においてご審議をいただく予定としております。

続きまして、4ページ目をご覧ください。

「子ども・子育て応援プロジェクト」と「花巻で暮らそうプロジェクト」の2つの重点推進プロジェクトについてですが、今回のローリングで新たに事業を追加したほか、その他の事業につきましては、ローリング後の事業費に更新したものです。各プロジェクトの年度間の主な増減要因ではありますが、「子ども・子育て応援プロジェクト」については、小・中学校施設の長寿命化計画による事業費の積上げや矢沢学童クラブの整備等が主な要因となっております。また、「花巻で暮らそうプロジェクト」については、JR花巻駅東西自由通路等整備や産業団地整備の事業進捗に伴う計画額の増減が主な要因となっております。いずれも現時点で想定する事業費の積上げですので、毎年度の予算編成において精査していくものです。

続きまして、5ページ目をご覧ください。

財政見通しにつきましては、当初作成時と同様に、決算見込みベースで作成しており、歳入の一般財源については、令和6年度は決算見込額とし、令和7年度は当初予算額をもとに、令和8年度以降は令和7年度当初予算額をベースとして、人口推計や近年の経済状況等をふまえて推計しております。国県支出金等の特定財源については、主要事業の積上げにより推計し、歳出については、主要経費は本計画に掲載されているローリング後の主要事業の事業費を積み上げたものに令和5年度決算の執行率を乗じて推計いたしました。管理運営費及び特別会計への繰出金等は、令和7年度当初予算をベースとした各年度の経費の積上げに令和5年度決算の執行率を乗じて推計したものに更新しております。

6ページ目の下段をご覧ください。

今後のスケジュールについてであります。明日（4月22日）より開催されます新市建設計画の変更に係る各地域協議会及び地域自治推進委員会への諮問に併せまして、ローリングの概要をお示しいたしますほか、5月上旬には総合計画審議会へ説明する予定としております。

以上、第2次花巻市まちづくり総合計画前期アクションプランの説明とさせていただきます。

（岩間総合政策部長）

説明が終わりました。内容について質問等ございましたら挙手のうえ、発言をお願いいたします。及川恒雄議員。

（及川恒雄議員）

財政見通しの臨時財政対策債は、国の税収が上振れしていることから今後発行する可能性が低いと見込んでいるということでしょうか。

（岩間総合政策部長）

古川財務部長。

（古川財務部長）

普通交付税の不足を地方と国とで折半することが令和7年度よりなくなりましたので、

今後もその方向で進むものと見込んでいるものです。

(岩間総合政策部長)

その他ございませんでしょうか。

それではご質問がないようでございますので、1点目の項目につきましては、以上で説明を終了させていただきます。

次の項目に移りますので、説明者交代のため暫時休憩いたします。